

# 新しい時代へ前進

68回目を迎えた千鳥会には、県内の各界から多彩な顔触れが集まった。昨年は24年ぶりに新知事が誕生、新たな県政がスタートした。首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の4車線化が決まり、産業集積の活性化や観光振興への追い風が期待される中、今後の県政のかじ取りに注目が集まる。戌年の新春に参加者約1100人が決意を新たに、本県のさらなる飛躍と発展を書き合った。



新年の飛躍を誓い乾杯する出席者

## 県民の声届ける

神田衆院議員

昨年10月の衆院選で初当選を果たした自民党の神田裕衆院議員は、当選から2カ月半が経過し、「特別国会を経験したが、まだ少し慣れないところもある」と振り返る。新年の抱負について「通常国会に向けて地域の声を国政に届けるため精いっぱい頑張りたい」と力を込めた。

## 地元のため尽力

浅野衆院議員

昨年10月の衆院選で初当選した希望の党の浅野哲氏は、議員バッジを胸に「大きな変化の年だった。自分に何ができるか意識を注いだ」と昨年を振り返った。新年を迎え「1期目の新人議員

なので、地域の皆さまの信頼をいただけるよう一歩ずつ踏み締めながら活動に励みたい。しっかりと着実に前進していく一年にしたい」と力を込めた。

## 国民望む政治を

藤田参院議員

民進党の藤田幸久参院議員は、社会保障や教育の充実、地域社会の支援などに触れ、「平和な日本、元氣な茨城づくりに全力で取り組みたい」と今年の抱負。昨年の衆院選を前に分裂した党の再生が進められているが、「国民の皆さんが望む政治をしっかりやる。この一言に尽きる」と強調した。

## 開通効果に期待

岸田鉦田市長

新人4氏の激戦となった昨年10月の市長選を制し、初当選した鉦田市の岸田一夫市長。「課題は山積しているが、『チェンジ鉦田』の理念の下、

## 夢持てる社会に

木村坂東市長

昨年4月に初当選した坂東市の木村敏文市長は「若い人たちが夢を持てる社会を目指し、情報共有や行政との意見交換などを積極的に進めたい」と抱負。圏央道の4車線化など、交通網の向上が進む同市。坂東インターチェンジ周辺の工業団地分譲は6〜7割の契約が進んでいるといい、「今年は大きく前進する。明るい光のある地域にしていく」と意欲を語った。



乾杯の音頭を取る高橋靖水戸市長

## 人に優しいまちへ

「2018年が輝かしい年となりますように」と乾杯の音頭を取った出話人の一人、高橋靖水戸市長。「市民と行政の協働で、人に優しいまちをつくっていききたい」と抱負を述べた。今年は市民サービスと防災の拠点の役割を果たす市役所新庁舎の完成を控え、「拠点として役割を果たせる環境づくりを進めたい」と力を込めた。

高橋靖水戸市長